

大会報告

山形県ものづくりコンテスト<電子回路組立部門>

山形県立山形工業高等学校

芦野 広巳

1 第6回県大会（兼東北大会予選会）について

1) 日程関係

- ア 日 時 平成22年6月19日（土）
- イ 会 場 山形県立産業技術短期大学校
実験実習棟3F電子回路実習室
- ウ 参加者 27名

2) 競技結果

ア 総 合

- 1位 代田佑介（山工高：情報システム3年）
99点 <東北大会出場権獲得>
- 2位 鈴木翔太（山工高：情報システム3年）
84.5点
- 3位 星川 司（東工高：電子システム3年）
79点

イ ハードウェア競技

- 1位 高橋 涼（山工高：電子システム3年）
- 2位 沼澤由樹（山工高：電子システム3年）
- 3位 長尾康志（山工高：情報システム1年）

ウ ソフトウェア競技

- 1位 齋藤彩人（山工高：情報システム3年）
- 2位 栗野鷹光（山工高：情報システム2年）
- 3位 三上英幸（山工高：情報システム2年）

2 2010 東北大会について

- 1) 日 時 7月29、30日
- 2) 会 場 宮城県工業高等学校
- 3) 参加者 7名（各県代表1名と開催県1名）
- 4) 成 績 1位青森県2位宮城県3位福島県
競技時間内での動作確認となり、何度も動作確認を要求した選手がおり、県代表の代田君は、練習の成果を発揮できず4位となった。

3 第10回 全国大会（茨城県）

- 1) 日 時 10月17日
- 2) 会 場 筑波研究学園専門学校
- 3) 成 績 1位長野県2位岡山県3位大分県
- 4 県大会を振り返り

ハードウェア競技は、各学校とも技能検定への取り組みが成果をあげ実力をつけている。ただし、

ソフトウェア競技は対応が不十分な面もあった。

ソフトウェア競技の課題は難易度別の点数配分で10個程度準備される形式が定着してきているので、時間内に課題文をしっかりと理解し確実に動作するプログラム作成能力を付けることが必要である。さらに、入力スピードも必要となる。

全国や東北大会とも開催県の事情により、競技方法や採点方法が毎回変化し、大会本番で使用した課題も公開されていない傾向は今後とも続くと思われる。全国で入賞するには、どんな課題にも対応できる練習方法を身につけなければならない。

全国情報技術教育研究会のWebページに公開されている「ものづくりコンテスト電子回路組立部門指導書（H8マイコン使用）」をぜひ参考にしてください。

http://www.zenjoken.com/monocon/download/mono_denshikairo_shidousyo_teisei.pdf



5 おわりに

ものづくり人材育成のため、昨年度より、県大会の会場を産業技術短期大学校とした大会を無事開催できたのは、素晴らし環境の会場だけでなく、審査補佐員（産業技術短期大学校学生）の御協力をいただいたおかげです。産業技術短期大学校の赤塚校長先生はじめ関係各位に感謝申し上げます。